

 YAMAHA	RECDECK 取付・取扱説明書	品 番
		Q7T-YSK-USA-G37

はじめに

工数：1.0h

- ・本書には商品の正しい取付方法と取扱上の注意事項について説明してあります。ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店またはワイズギアにお問い合わせください。
- ・本製品はウェーブランナー整備の知識および技能を有する方が取り付けることを前提としております。本製品をウェーブランナー本体へ取り付ける際は、購入元の販売店に作業を依頼してください。
- ・本書はお手元に保管頂き、この製品もしくはこの製品を取り付けたウェーブランナーを譲渡する場合は、必ずこの説明書もお渡しください。
- ・当社が指定する適合ウェーブランナー以外への取り付けは行わないでください。
- ・RECDECKを装着したウェーブランナーをトレーラーに搭載する場合は、トレーラーの取扱説明書の内容を順守してください。
- ・本書の指示や注意事項を守らずに使用したことによる事故、損害等は、弊社では一切の責任を負いません。
- ・商品保証は本製品についてのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外のどのような事柄についても弊社は責任を負いませんので予めご了承ください。

【販売店様へ】

本製品の商品説明および取扱上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本製品の取り付けに際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい取り付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠ 警 告 取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

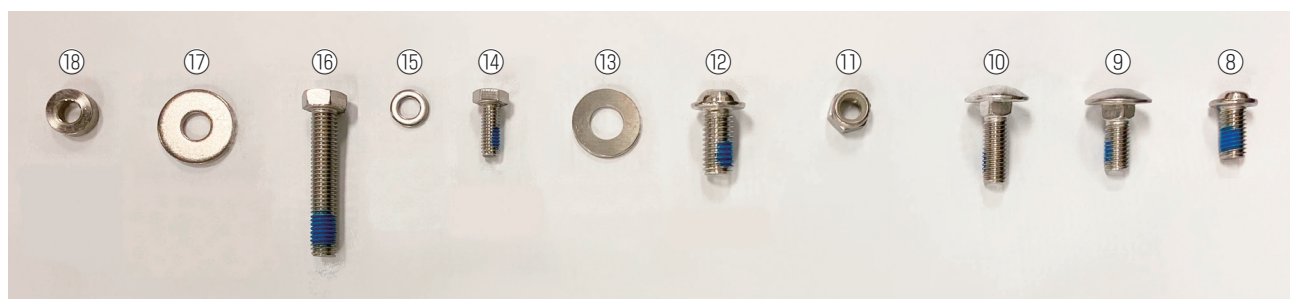
⚠ 注 意 取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

構 成 部 品

No.	品 名	部 品 番 号	数 量	備 考
—	RECDECK多用途プラットフォーム	—	—	適応艇種・年度はワイズギアWEBサイトをご確認ください
①	ラダー	—	1	
②	プラットフォーム	—	1	
③	インサートプレートLH	—	1	
	インサートプレートRH	—	1	
④	マウンティングブラケットLH	—	1	
	マウンティングブラケットRH	—	1	
⑤	リアサポートアーム	—	2	
⑥	スペーサープレート	—	2	
⑦	ホース	—	1	クリアチューブ
⑧	フランジ付きボタンヘッドボルト	—	6	M8 × 15mm
⑨	キャリッジボルト	—	2	M8 × 20mm
⑩	キャリッジボルト	—	6	M8 × 25mm
⑪	ナイロンナット	—	8	M8
⑫	フランジ付きボタンヘッドボルト	—	2	M10 × 18mm
⑬	ワッシャ	—	2	M10
⑭	六角ボルト	—	8	M6 × 16mm
⑮	ワッシャ	—	8	M6
⑯	六角ボルト	—	6	M8 × 45mm
⑰	特大ワッシャ	—	6	M8
⑱	スペーサーワッシャ	—	8	M6 × 4mm
⑲	結束バンド	—	1	
⑳	マリンマット	—	1	
㉑	RHブラケット	—	1	
㉒	LHブラケット	—	1	
㉓	コーションステッカー	—	1	

部品番号の記載が無いものは、補修部品の設定はありません。



取付イメージ



取 付 方 法

⚠ 警 告

艇体が船台に確実に固定されていることを確認してから作業を始めてください。

要 点

作業を始める前に取付面を清掃してください。

1. ラダー①をプラットフォーム②の下側に仮置きし、引き出します。ラダー①の取付穴6箇所とプラットフォーム②の取付穴を合わせます。



2. フランジ付きボタンヘッドボルト⑧6本を挿し込み、ラダー①をプラットフォーム②に固定します。後方から順にボルトを締め付けます。



3. すべてのフランジ付きボタンヘッドボルト⑧を締め付けます。（締付トルク：8.02Nm[0.82kgf・m]）



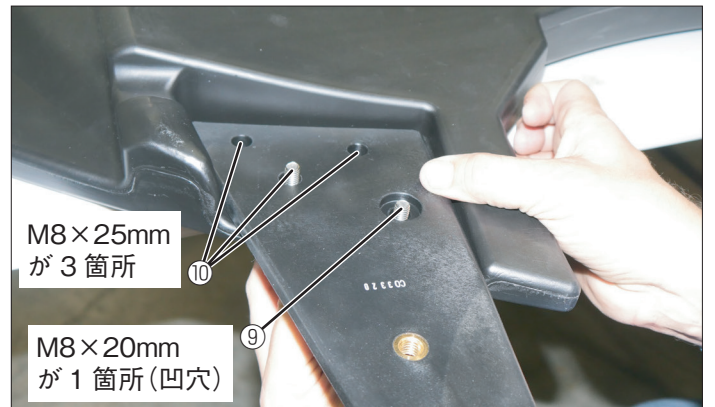
4. プラットフォーム②に固定したら、ラダー①を収納します。



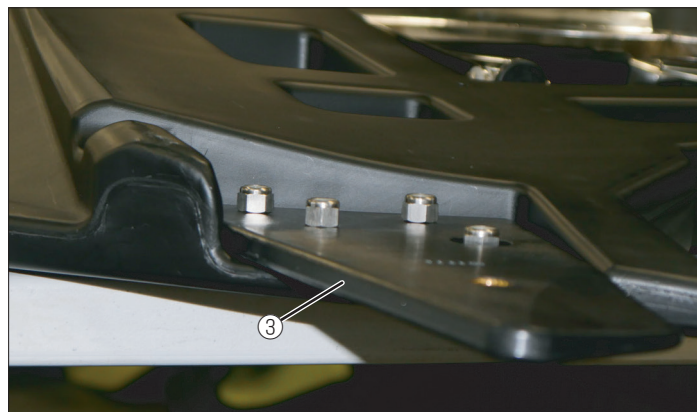
5. インサートプレート③をプラットフォーム②に取り付けます。穴の位置を合わせ、プラットフォーム②を逆さまにして、平らな面を上にします。



6. プラットフォーム②の下側からM8キャリッジボルト⑨・⑩を挿し込みます。



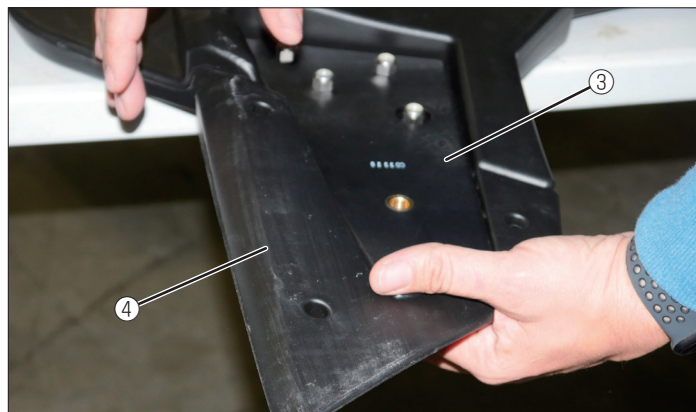
7. 4個のM8ナイロンナット⑪でM8キャリッジボルト⑨・⑩を固定します。（締付トルク：8.1 Nm [0.82kgf・m]）



9. マウンティングブラケット④とインサートプレート③の取付穴にM10フランジ付きボタンヘッドボルト⑫とM10ワッシャ⑬を挿し込み、仮締めします。



8. マウンティングブラケット④をプラットフォームのA（取付方法10参照）に合わせ、インサートプレート③の形状に合わせて覆うようにします。



10. 取付方法5～9を繰り返して、反対側にもインサートプレート③とマウンティングブラケット④を取り付けます。プラットフォームの組立は完了です。



11. 艇体の後方からリボーディングステップを取り外します。ドライバーとレンチを使って、ラダーの両側のボルトを外します。

要 点

- 取り外したボルトとナットは取付方法13で使用するため、紛失しないようにしてください。
- ラダーホルダーがボルトにぶつからないようにしっかりと押さえます。ボルトにぶつくとマウントが変形し、取り付けが難しくなる可能性があります。
- ラダーホルダーが戻らないように、棒を使用してブラケットを固定することで作業がしやすくなります。



12. リボーディングステップを取り外したら、ラダーホルダーのボルト穴と揃うようにリアサポートアーム⑤を取り付けます。リアサポートアーム⑤のプレートの狭い面を後方に向けます。



13.取付方法11で取り外したボルトとナットを艇体に取り付けて締めます。
(締付トルク：10.7Nm[1.09kgf・m])



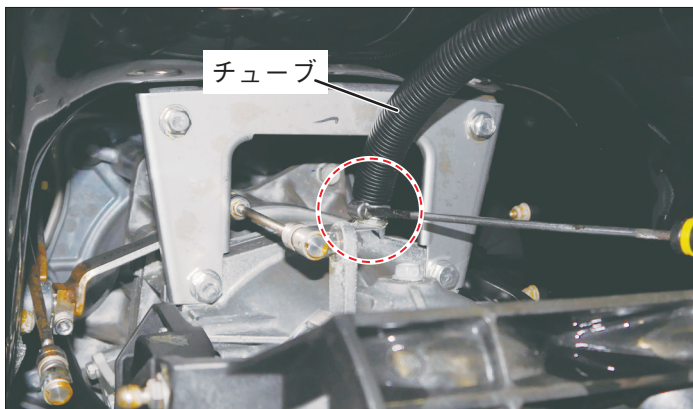
14.取付方法12～13を繰り返し、反対側も同様に作業します。



15.スパウトの出口側を固定しているホースクランプを緩め、純正ホースを外します。シフトロッドジョイントを外し、リバースゲートを降ろしてから、ジェットユニット側のホースクランプを緩め、純正ホースを外します。
純正チューブは使用するため、取り外しておきます。

要 点

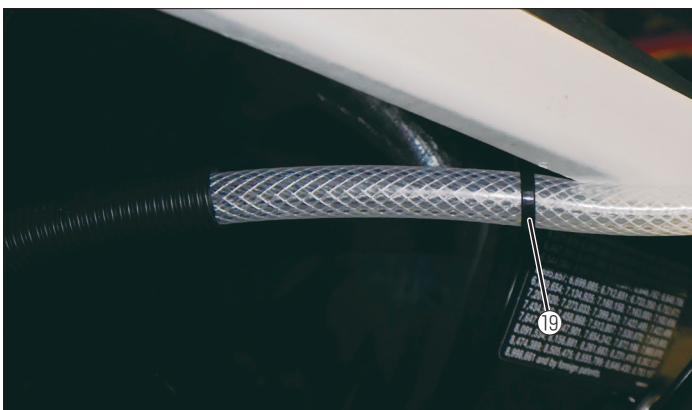
- ホースクランプは取付方法16・19で使用するため、紛失しないようにしてください。
- ホース交換後、チューブを元の位置に戻すため、位置を覚えておいてください。



16.ホース⑦を純正チューブに挿入し、ジェットユニット側のホースクランプを締め直します。取付方法15で外したシフトロッドジョイントを取り付けます。



17.ホース⑦を結束バンド⑱でデッキに固定します。リヤプロテクターを固定しているボルトの1つに結束バンド⑱の孔を挿し込み、固定します。



18.プラットフォーム②を艇体の後方に置きます。



19.ホース⑦をプラットフォームのスパウトに挿入し、取付方法15で取り外したホースクランプを使用してホース⑦を固定します。チューブは元あった位置に戻してください。



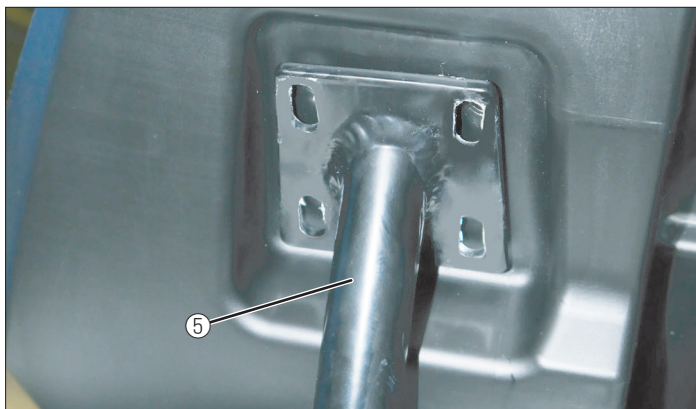
20.プラットフォーム②が艇体の前後左右で正しい位置に置かれていることを確認します。大きな隙間がないようにしてください。適切な位置に配置したら、プラットフォーム②の上にバラストを置いて押さえます。

要 点

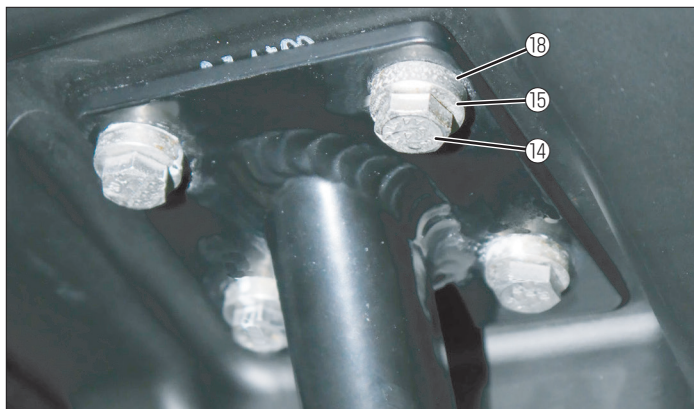
艇体のデッキには、RECDECK取付用の孔（6箇所）が開いています。船内側より孔を確認し、フロアマットにマーキングしておきます。このとき、プラットフォーム②とマーキングの位置が合うように調整します。



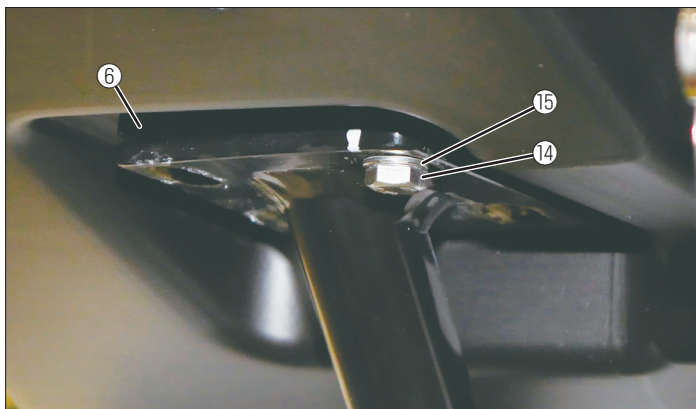
21.リアサポートアーム⑤の4つの穴がプラットフォーム②の孔と揃っているか、プラットフォーム②の下支柱の位置を確認します。



22.リアサポートアーム⑤を4本の六角ボルト⑭、M6ワッシャ⑮、スペーサーワッシャ⑮で仮締めします。反対側も同じ手順を繰り返します。



23.GPSトランスデューサーブラケットを取り付ける場合は、スペーサープレート⑥を支柱に合わせて、4本の六角ボルト⑭とワッシャ⑮を取り付けます。反対側も同じ手順を繰り返します。（トランスデューサーブラケットの取り扱いなし）



24.締める前に、リアシートと防水物入れを取り外します。



25.プラットフォームが取付方法20で合わせた正しい位置にあることを確認します。φ9.5mmのドリルビットで、3つの孔を開けます。このとき、プラットフォームの孔をテンプレートとして使用します。



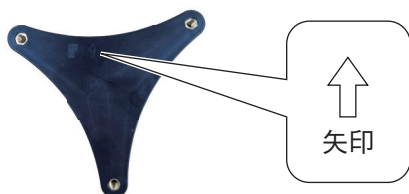
26.3本のボルト⑩と特大ワッシャ⑰を孔に挿し込みます。



27.RHブラケット⑳の平らな面を上面、矢印の方向をバウ側に向けます。RHブラケット⑳を取付方法25の孔の位置に合わせ、デッキを挟み込むように3本の六角ボルト⑩を仮締めします。

要 点

艇種によっては水入りする可能性があるため、シリコンを塗布してください。



28.ボルト⑩を締め付けます。(締め付トルク：6.8Nm [0.69kgf・m])

次に、取付方法9で仮締めしたM10フランジ付きボタンヘッドボルト⑫を締め付けます。(締め付トルク：6.8Nm [0.69kgf・m])

最後に、取付方法22と23で使用した六角ボルト⑭を締め付けます。(締め付トルク：5Nm [0.51kgf・m])

29.反対側も取付方法25～28を繰り返します。(反対側はLHブラケット㉔を使用)



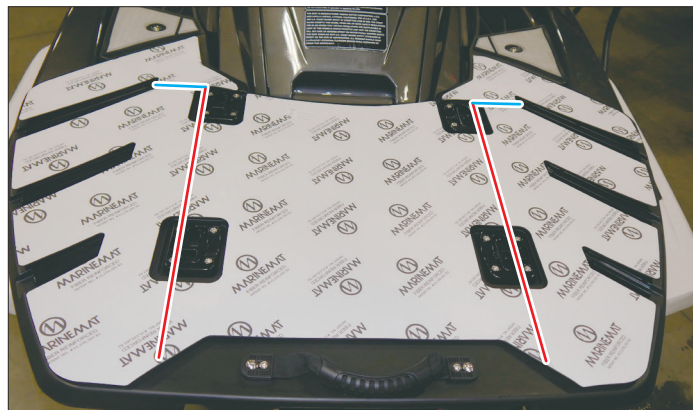
30. マリンマット⑳をプラットフォーム㉔に取り付けます。プラットフォーム㉔の上にマリンマット⑳を裏返して置きます。



31. 簡単に貼り付けられるように、マリンマット⑳の裏側に切り込みを入れて切り取り線を描きます。最初の線は、RECDECK 左側の上部クリートからマリンマット⑳の端まで垂直に引きます（赤線）。右側も同じ手順を繰り返します。

次に、上部クリートの上の外側の角からマリンマット⑳の端まで、短い直線を 2 本引きます（青線）。

マリンマット⑳をきれいで平らな場所に移動し、プラットフォーム㉔全体の油脂や汚れを拭き取ります。



32. マリンマット⑳を切らないように注意しながらカッターナイフを使って、描いた線に沿って裏紙を切り取ります。

次に、裏紙の中央部分を半分だけはがします。はがした部分をマリンマット⑳側に折り返します。

マリンマット⑳をプラットフォーム㉔の上にそっと置き、裏紙をはがした部分とクリートとの隙間が均等になるようにマリンマット⑳の位置を調整します。中央の左側を押さえ、折りたたんだ裏紙をはがし、マリンマット⑳を平らに置きます。中央を軽く押して固定します。マリンマット⑳が平らで、正しい位置にあることを確認します。

要 点

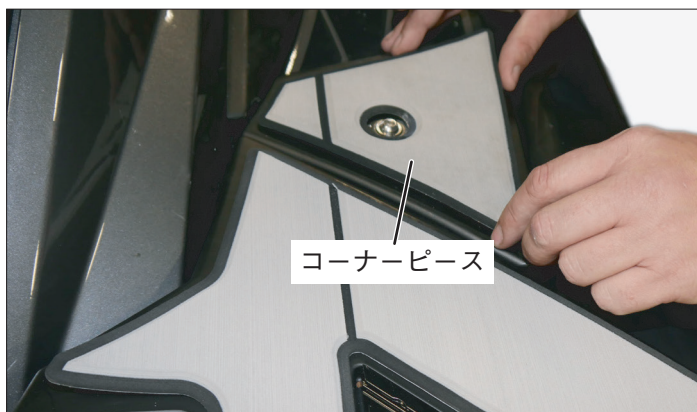
マットは空気が入らないように端から少しずつ貼り付けてください。



34.右上隅の裏紙をはがします。マリンマット⑳の角をデッキに貼り付けます。デッキと揃っていることを確認し、左上隅も同じ手順を繰り返します。



35.上部のコーナーピースを正しい面に配置します。ボルト穴の周りにピースを合わせ、内側の端が形状と一致していることを確認します。
次に、マリンマット⑳上隅のコーナーピースの裏紙をはがし、デッキに貼り付けます。



36.マリンマット⑳がプラットフォームにしっかりと密着していることを確認します。
スプレー缶などをマリンマット⑳の上で転がして、プラットフォームに完全に密着させてください。



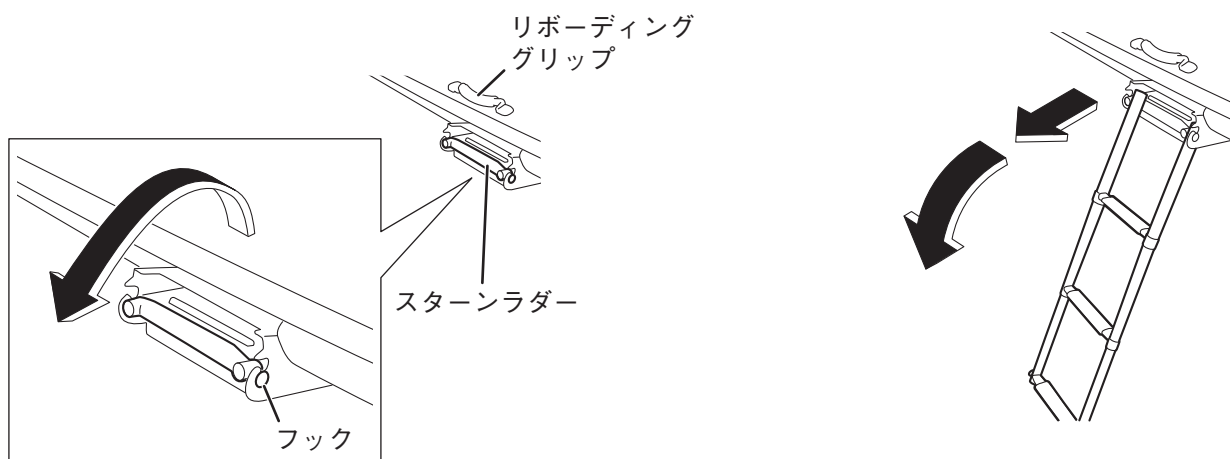
37.プラットフォームに貼り付けられている英語版コーションラベルを剥がします。
剥がした面に残っている接着剤を除去し、油脂や汚れを拭き取り、同じ位置にコーションラベル㉓を貼り付けます。

⚠ 警告

- 正しく使用しないと、けがまたは死亡の恐れがあります。安全上の注意としてウェーブランナー専用で使用してください。
- 使用時は、ラダーに向かってラダーの中央に立ってください。
- ダイビング、ジャンプ、艇体が水から出ている状態での乗船、または本来の目的以外で使用しないでください。
- 同時に1人だけがラダーに乗ってください。
- エンジンが作動している時に、ラダーを使用しないでください。
- 使用前にラダーおよび金具を確認してください。
- 挟まれる部分に体や指を近づけないようにしてください。

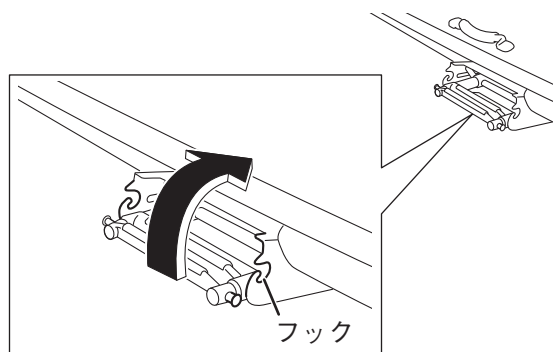
■ 取り出し方法

1. スターンラダーの端を持ち上げて、プラットフォームのフックから外します。
2. スターンラダーを完全に引き出し、スターンラダーを下ろします。



■ 収納方法

1. スターンラダーを水平になるまで引き上げ、前方に押します。
2. スターンラダーの端を押して、プラットフォームのフックにはめ込みます。



使用上のアドバイス

- 前方のクリートの穴は、マルチユースラックをプラットフォームに固定するために使用します。
- RECDECKに取り付けられた荷物がしっかり締め付けられており、荷物がRECDECKの端からはみ出していないことを確認してください。
- 後部のリボーディンググリップに荷物を固定したり、このグリップを使ってユニットを持ち上げたりしないでください。グリップはリボーディング専用です。（リボーディンググリップの場所はP10参照）
- RECDECKで運搬または収納する荷物が、操船者または同乗者のシートや足元を妨げないようにしてください。
- 荷物を固定する際は、跳ね上げ式のクリートを使用してください。使用しないときは、クリートを下げ、収納状態にしてください。
- リボーディングで使用する場合を除き、必ずスターンラダーを収納してください。
- ジェットポンプに吸い込まれないように、紐やストラップをしっかり固定してください。

■ 取外方法

1. マウンティングブラケット④の2本のM10フランジ付きボタンヘッドボルト⑫と、プラットフォーム②を後部支柱に固定している8本のM6 ボルト⑭を取り外します。
2. スパウトホースからホース⑦を取り外します。
3. 元のリボーディングステップとスパウトホースを取り付けます。

要 点

デッキ上部のマウンティングブラケット④は艇体に取り付けたままにします。

取扱上のご注意

⚠ 警告

- ウェーブランナーの最大積載量を超えないでください。積載量を計算する際は、RECDECK、その他のアクセサリ、および積載物の重量をすべて含めてください。
 - RECDECKエリアに人が立っているときや座っているときは、エンジンをかけないでください。思わぬ事故の恐れがあります。
 - RECDECK上の荷物はできるだけ前方に固定し、左右のバランスが取れていることを確認してください。
 - 荷物は、リアシートよりも高くないようにしてください。また、プラットフォームからはみ出さないようにしてください。
 - すべての締付箇所のトルクを定期的に確認してください。緩んだ箇所が見つかった場合は、規定のトルクに再調整してください。
-
- プラスチック部品とマリンマットは、清潔で柔らかい布に中性洗剤または水を含ませて拭き、よくすすいで乾燥させてください。
 - 海水に浸った後は、必ず真水で洗ってください。

●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワイズギア



0120-819049

オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日除く）
9:30～12:00 13:00～17:00
◎音声アナウンスに沿って担当部署をお選びください。

〒430-0946 静岡県浜松市中央区元城町115-10 元城町共同ビル FAX 053-488-5630